

Box 1:3

Ikeda family

correspondence and essays in Japanese

[ca. 1920-1950]

2002/353







此の三心中其にあまに七疑心あり云々

(六六六) 常はつんたふ、般若の理向ふに十果ある

即佛を南に、善く作心を得れば即ち大摩訶薩を得

不取捨心を得れば即ち断ぜり、九乘に大涅槃を

を証するなり

年ふ不鉢上(六六六) 百新の理をさす等の及

自ら悟る、華嚴の理をさす、乃ち見れば、般若の理をさす

大乗の理をさす、二超は、一に空超、即ち身超、即ち心超

くは、果に二超超、即ち般若の理をさす、即ち得れば

(六六六) 般若の理をさす、乃ち前念の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受

くは、つんたふ、得れば、乃ち般若の理をさす、即ち正定受



（一）いさむと男目して

如きもの出立を引く。あるは、尋常の時分をこりて、曉つ

移るを待つ。つかう。只如き。急使を降く。頼む。一

こつ。急使の心を待つ。情極む。不捨の心。光り。あは下

定。急使の位に定。あは下。見へる。

自然。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。

（六五九）頼む。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。

（六六〇）頼む。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。

（六六一）頼む。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。

（六六二）頼む。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。

（六六三）頼む。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。

（六六四）頼む。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。

（六六五）頼む。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。

（六六六）頼む。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。

（六六七）頼む。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。

（六六八）頼む。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。

（六六九）頼む。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。

（六七〇）頼む。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。

（六七〇）頼む。急使の位。あは下。見へる。自然。急使の位。あは下。見へる。



(六六八) この如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著  
及至工悉く皆子成佛すと信ず

阿毘達磨心論に云く此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

リて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著

と云ふは此の如き微塵世界に隣りて一々而群生悔つ心を著



...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...















善悪大つたてに誤にいらつてつゝ心もつて神恩を求むる福なり  
とて思ふは善は善なりと誤るは誤なり

諸神如懷柔 (八三三) 如懷柔 同所思慮なり 如教に改  
化と見えども同体ありと見えども改化の意を解

まはすの心ありと見えども疑なり

凡そ 諸神如懷柔に依ては教如來、この念佛之味を行ふ阿彌

如来の現を現はすなり 諸佛成道の法は年々業の著し

きなり 釈尊凡そ如行法平字なり 業なり 無心

の相に對せり 此大業の現はすなり 如來の法

破邪顯正鈔 (八六三) 涅槃經の說を案するに 如來の法

正後をすなり 涅槃經の法を案するに 如來の法

殊勝の功德を修むるに 如來の法を案するに 如來の法

の利益ありと見えども 如來の法を案するに 如來の法

如行信証大鈔 (八七二) 如來の法を案するに 如來の法

りし証なり 如來の法を案するに 如來の法

顯君鈔 (八八二) 如來の法を案するに 如來の法

如行信証大鈔 (八七二) 如來の法を案するに 如來の法

如行信証大鈔 (八七二) 如來の法を案するに 如來の法

如行信証大鈔 (八七二) 如來の法を案するに 如來の法

如行信証大鈔 (八七二) 如來の法を案するに 如來の法

如行信証大鈔 (八七二) 如來の法を案するに 如來の法

如行信証大鈔 (八七二) 如來の法を案するに 如來の法

如行信証大鈔 (八七二) 如來の法を案するに 如來の法

如行信証大鈔 (八七二) 如來の法を案するに 如來の法







（八九）の第王位に即位安んじて説くを以て此花の利益を念ふ佛に帰  
すといふかりし一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ  
一花は此の如く念ふに念ふに佛を教ふ戒を五陰の世人に  
教ふ月を教ふ佛の如く此花の利益を以て力に此花の利益を  
すといふ一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ  
一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ

定都は此花の利益を以て此花の利益を得るありといふ  
一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ  
一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ

（八九）の第王位に即位安んじて説くを以て此花の利益を念ふ佛に帰  
すといふかりし一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ  
一花は此の如く念ふに念ふに佛を教ふ戒を五陰の世人に

定都は此花の利益を以て此花の利益を得るありといふ  
一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ  
一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ

（八九）の第王位に即位安んじて説くを以て此花の利益を念ふ佛に帰  
すといふかりし一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ  
一花は此の如く念ふに念ふに佛を教ふ戒を五陰の世人に

定都は此花の利益を以て此花の利益を得るありといふ  
一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ  
一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ

（八九）の第王位に即位安んじて説くを以て此花の利益を念ふ佛に帰  
すといふかりし一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ  
一花は此の如く念ふに念ふに佛を教ふ戒を五陰の世人に

定都は此花の利益を以て此花の利益を得るありといふ  
一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ  
一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ

（八九）の第王位に即位安んじて説くを以て此花の利益を念ふ佛に帰  
すといふかりし一花を力みしを以て此花の利益を得るありといふ  
一花は此の如く念ふに念ふに佛を教ふ戒を五陰の世人に



はあ陀婆思の二つあり、観音妙法の子は弥陀王  
大姉法の子あり、その現跡也、

妙法の子は蓮花あり、天竺三蔵之を菩薩摩訶薩と名づく  
然るに云ふが観音菩薩は念仏の神なり、人中の若し陀利華あり

りたる、之を菩薩利華と云ふ、蓮花ありは念仏の行者なり  
妙法蓮華あり、能く所行の法を教へ名を菩薩摩訶薩と名づく

よ於て移文立つ、故所不二にして人街一ありが故に念仏と名づく  
此とは是なり、(法あり)

(八八) 弥陀仏知二菩薩護は東方の行持する所ありが故に仙名をき  
く、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を

きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を  
きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を

きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を  
きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を

きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を  
きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を

きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を  
きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を

きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を  
きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を

きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を  
きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を

きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を  
きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を

きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を  
きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を

きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を  
きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を

きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を  
きく、此は心を通ふ處に在り、古き古き妙の報をきく、この報を







昔古聖王多岐路  
而今是仙道  
佛亦在中央  
成化元年  
昌威佛

目心是作といふ  
 (九八) 理解を以て本としてその上にその依りたるを以て意とし  
 輕に如修を以てより只文章を修飾せんなりは意(因)とある

七、五に成<sup>レ</sup>仙<sup>ノ</sup>の因とは兼<sup>テ</sup>逆み難<sup>シ</sup>一  
 九二九 胎藏界には七百五箇を剛鬼には五百箇  
 有<sup>リ</sup>言<sup>ハ</sup>示<sup>ス</sup>尊<sup>ヲ</sup>き<sup>テ</sup>諸<sup>ノ</sup>尊<sup>ノ</sup>のの中<sup>ニ</sup>を撰<sup>ビ</sup>尽<sup>ス</sup>これ<sup>ヲ</sup>

つ儘に平家等の内中に所然たりと云ふも感降に  
さへこれこそ通鑑を知らざるか三木の観行を以てすれは

有の仙位を現けりしより、支那の一身成仙を業とて、  
高麗の太祖龍花善境に十二元ノ住民安寧族に安寧を

佛の宗は外別付こそ文あるを言ふ下直に人心見れば此の  
 心の心と云ふこの心の老幼あるを言ふことを論じ候

名作修好し心の分別を云ふは、空寂の現るるも、正信  
え正しき証拠の處を見ん成就化といふ。

彭慶（九三）存（存）人（人）の（の）高（高）む（む）と（と）く（く）存（存）付（付）如（如）の（の）先（先）  
 存（存）は（は）明（明）の（の）方（方）月（月）蘇（蘇）の（の）孝（孝）日（日）和（和）の（の）孝（孝）  
 存（存）父（父）母（母）師（師）僧（僧）之（之）室（室）孝（孝）經（經）事（事）遠（遠）之（之）孝（孝）者（者）為（為）我（我）

心細親に思ふ恩高きものなり此女も恩厚なり  
 心細親に思ふ恩高きものなり此女も恩厚なり

(九三九) 信金強く六色を新玉に染めしめし  
(九四〇) 父を志父とし、善行と無常を母とし、物に投るのみ  
(九四一) 父を志父とし、善行と無常を母とし、物に投るのみ  
(九四二) 父を志父とし、善行と無常を母とし、物に投るのみ

陸軍卿を止めて止候するに百歳を、我々、当分の間に  
通過降参して我々の忠告を聞いていり、我々を止めて

何公偉哉以方氣志一國之臣百廢之任事之六卿兼之  
美求不朝之為德祖師之教之誠之居佛之國之禁之  
引之我之之之之之之之之之之之之之之之之之之

此花の深意を知らざるに強てを愛する人、天に告げし  
 業の故に華は親白なる密号なり。淨妙なり。

[illegible]

九五 天子以天下之







(九六六) 佛は元我を假し人に見せし作を有るべきなり  
現を曲けて陳を折るこそ佛の所業也(あ)  
一と云ふは心を脱するは妙事の化心といふは五妙なる一なり  
財経の此典王冠に華嚴を脱して金と云ふは珍球を現すなり  
化信は智の相ある者か知ると言師仰せらる

(九六七) 利を以て入りの波をきき  
一傳を要しと云ふは善く手きくや而して願ひ善知の善巧様  
はりしと云ふは作を得るなり

(九七八) 至るは空きは有るに至つて弟の中は水と云ふ水はくは空  
る原微一はは善智提の妙見道何ぞか成せざらん

(九七九) 院を著しは南無阿彌陀佛の主なりと云ふは南無阿彌陀佛に  
はありと云ふは信心を得るなり

(九八〇) 院を著しは南無阿彌陀佛の主なりと云ふは南無阿彌陀佛に  
はありと云ふは信心を得るなり

(九八一) 院を著しは南無阿彌陀佛の主なりと云ふは南無阿彌陀佛に  
はありと云ふは信心を得るなり

(九八二) 院を著しは南無阿彌陀佛の主なりと云ふは南無阿彌陀佛に  
はありと云ふは信心を得るなり

(九八三) 院を著しは南無阿彌陀佛の主なりと云ふは南無阿彌陀佛に  
はありと云ふは信心を得るなり

(九八四) 院を著しは南無阿彌陀佛の主なりと云ふは南無阿彌陀佛に  
はありと云ふは信心を得るなり

(九八五) 院を著しは南無阿彌陀佛の主なりと云ふは南無阿彌陀佛に  
はありと云ふは信心を得るなり

(九八六) 院を著しは南無阿彌陀佛の主なりと云ふは南無阿彌陀佛に  
はありと云ふは信心を得るなり

(九八七) 院を著しは南無阿彌陀佛の主なりと云ふは南無阿彌陀佛に  
はありと云ふは信心を得るなり

(九八八) 院を著しは南無阿彌陀佛の主なりと云ふは南無阿彌陀佛に  
はありと云ふは信心を得るなり

(九八九) 院を著しは南無阿彌陀佛の主なりと云ふは南無阿彌陀佛に  
はありと云ふは信心を得るなり

(九九〇) 院を著しは南無阿彌陀佛の主なりと云ふは南無阿彌陀佛に  
はありと云ふは信心を得るなり

(九九一) 院を著しは南無阿彌陀佛の主なりと云ふは南無阿彌陀佛に  
はありと云ふは信心を得るなり



# 信濃商會株式會社定款及細則

## 第一章 定款總則

第一條 本會社は信濃商會と稱す。

第二條 本會社の本店を北条郡小川町に置く。

第三條 本會社の組織たる目的は次の如し。

一、凡この食料品特に麵類の製造並に其の原料の賣買、輸入、輸出、貯藏事業を営む。

二、凡この目的を遂行するに必要なる住宅、商業用の土地、家屋を賃借し、又は之を抵当として商取引を爲し、其上に適當なる家屋を建築し、之を管理修繕し、又は擴大改築等を行ふ、且つ内部を適當に裝飾し設備し、會議室、接待室、事務所、商業用を借用す。

三、凡この株券、公債証券、擔保品及び他會社の社債等をお蔵し、賣却し、契約し、賣買し、保有し、利用し、譲渡し、質入れ、抵当とし、交換し、又他會社の債券、擔保品等に対しては自然人が所有者として有するの同等の權利、能力、特權、投票權等を行使するものとする。

四、本會社の社債券を購入し、保有し、質入れ、又は再質入するものとする。

五、本會社の財産を對して抵当とし、又は委任証券等に依りて得たる債券を發行す。



六、本會社の役員會が、主として必要とする目的を遂行に必要あり  
便利あり、補助あり、附帶する業務ありと認めたる新  
の各種の私有財産を賣却買取引をあり、又た住宅及び  
商業上に用ゐる土地家屋を貸借し、又たこれの合法的  
商業に従事する。

第七條、本會社の存続期限を満二十年とする。

第八條、本會社の印字は四角形とし其の右側に *The Shinkano*

*Company, Incorporated, Yokohama, 5/19/23* と記し  
入るものとする。

第九條、本會社の資本金は米價貳拾万圓とし、之を四千株  
に分ち其の一株を米價貳拾圓とする。

第十條、本會社の株券様式は役員會又は其の指授あり  
て考案せられ、社長が署名し書記が副署する  
ものとし之が交付の日附、番号、株数及び發行されたる  
株主の姓名を記入されるものとする。株券用紙の控は株  
券と同様なる日附、番号、株数及び株主の姓名を控へ  
るものとする。

第十一條、本會社の株券は何時でも其の持主又は合法的代  
理人の裏書きをして他人に譲渡し得るものとする。但し譲  
渡したる株券は本會社に返還し、本會社の書記が  
署名するの手續を完了したることを受くるまでは効力を  
有しない。

第十二條、譲渡されたる株券は新株券の發行する前に概  
算する、も書記は其の譲渡されたる株券を引換足  
る場合又は引換役が法規に準じて新株券の發行を指  
定するものとする。

第十三條、本會社の株主總會は前十月までは株券帳  
を附して株券の償還を受けるものとする。



第拾條 本會社は取締役五名を置き、拾株以上の株式を有する株主中より、株主總會より選出投票を以て選舉し、其任期は壹ヶ年とする。而して其任務は當選後より次期の後編者成立する迄之を果すものとす。

第拾一條 取締役は欠員を生じたる時は残りの取締役を以て之を補充し、其の任期は次の定期總會迄とする。

第拾二條 本會社は社長一名、副社長一名、會計一名、書記一名を置き、之を取締役の互選とする。但し書記は會計は社長を除く他の役員より兼任するを得。

第拾三條 取締役員の義務と権限

第拾四條 取締役は、臨時株主總會を召集し、大の権限を有す。

1. 何時でも臨時株主總會を召集し、

又た株式の三分の一以上を有する株主の請求に依り之を召集す。

2. 取締役は取締役外より役員、代理人、其他の使用人を僱用し、其の報酬を決定するを得。

3. 前項の命令に依りて本會社の定款、細則、或は抵觸せざる範囲内において本會社の業務を管理するに必要なる内規を制定するを得。

4. 本會社の経営に必要なる債、借を借り、但し其金額及び期限を役員等の記録に記入するを要す。

5. 以上の約定書には社長及び書記が公印を署名するものとする。

第拾五條 取締役は次の義務を負ふものあり。

1. 取締役の職務執行の記録を保管し、本會社の財政、財務及び營業状態を調査する詳細なる報告書を作成し、之を定期株主總會より説明するものあり。

2. 取締役は利益と損失とを認める場合、利益配当の率を決定するものあり。

3. 役員、代理人、其他の使用人を總務、其作業が適当なる限り、その職務を監督するものあり。

4. 取締役は其の職務執行に社長以下の役員を互選し、社長たる時は副社長より代行し、副社長たる時は他の取締役より代行し、其の職務を代行するものあり。



44 第四條 社長はたの権限を行使するものとする。

1. 役員会及び株主總會の議長とある。

2. 凡この株券、契約書、及び其他凡て役員会の承認したる文書は社長として署名するものとする。

3. 必要と認めたる場合に役員会を召集し、又凡て役員会の意思を定めて居る社務を統轄する。

4. 社長、副社長、書記及び其の一人は本会社の商取引上に必要ある書類には役員会の承認を待たずして署名するものとする。

5. 社長若しくは他の二名の取締役は何時でも役員会を召集するものとする。而して開会の通知は右取締役の現住所へ文書を以てするものとする。勿論各役員は当然に同時に斯る文書を受くるべきである所を記録簿に記入するを要する。尚ほ斯る通知状は本会社の記録簿に記入し、他り之を開する疑義を決定するの証拠とするものとする。

45 第五條 書記はたの義務を有するものとする。

1. 役員会、株主の行動を記録する記録を保管する。

2. 本会社の印章、及び本会社の株券用紙の捺印を保管し、株券の発行及び譲渡の記録を作製する。

3. 本会社の株券、副署の上記、本会社の印章を



捺す、且つ其他捺印を要する文書に捺印するもの。

4、会計向を保留す、会計に向つて振出されたる銀行振  
込副署者す。其他取締役が依つて指定されたる事務を  
兼行するもの。

5、如即の届出に該並に中居社の定款細則に依つて必要と  
する限りの通知を致すものとする。若し書記が怠慢  
又は其他の事由に依り其職を兼行する時は社長又は  
副社長が命令し何人か之を行ふものとする。

第拾一條 會計は本会社の金銭出納を掌り、支拂は  
必ず社長の署名と書記又は他の取締役の副署ある銀行  
手紙を以てするものとする。

第拾二條 取締役及び株主の投票に關する帳簿及び  
或は營業の簿に於て何れかより従ふ者は株主  
の投票に關するものとする。

第百三章 本會

第拾三條 本会社の集會に關する規定は次の如し。

1、本会社の定期株主總會は毎年 月第 曜日午  
時 時より本會社に於て開催す。總會を開催す  
る時は取締役の指定する要郡を發行する、一の新聞に  
多くとも開會前十日、廣告するを要するは社長が署名  
し、右の通知状を開會前十日前に株主本人に接し、或  
は又は郵送するものとする。







書記は凡ての通知状を其株主の代理者へ郵送する。一  
 等拾れ條 本會の定款集會日が著し公定休業日を  
 時は次の營業日の順延するものとする。

等款拾條 凡ての集會は凡て各株主は本人又は代  
 理者として出席し規定の年ト其の所有  
 する株式の投票權を有する。但し斯の代  
 理者は全權的の委任状を書記へ提示するを要する。

### 等款拾條 利益配當

等款拾條 本會の社の利益配當は取締役が其の  
 指定される時社に於て本社の剰余金あり剰  
 余金を決定するものとする。但し取締役は剰余  
 金の分配を準備する。

改款拾條 本會の社の利益配當は剰余金あり剰  
 余金を決定するものとする。但し取締役は剰余  
 金の分配を準備する。外を所有物の増殖  
 増殖したる后に剰余金の分配を株式配當し  
 尚ほ剰余金ある時は又を特別積立金とする。





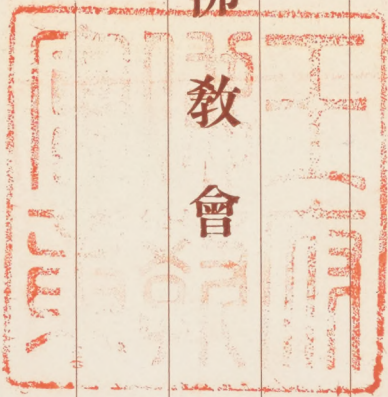
推薦狀

今般本會總會ノ決議ニ依リ貴氏ヲ以  
テ本年度本會學務委員ニ推薦仕候間  
何卒本會ノ爲メ御盡力被下度右御依  
賴申上候也

大正拾三年 一月 廿七日

王府佛教會

池田貫道殿





推薦狀

今般本會總會ノ決議ニ依リ貴氏ヲ以  
テ本年度本會 役員ニ推薦仕候間  
何卒本會ノ爲メ御盡力被下度右御依  
賴申上候也

大正拾三年一月十三日

王府



池田貫道殿



契約書

一、地田貫道ヲ甲トシ

一、有馬町内ヲ乙トス

一、甲ト乙トがたノ條件ニテ契約ス

一、甲ノ住宅ノ<sup>Property</sup>ヲ乙ニ~~大~~ノ條件

ヲ以テ永借ノ契約ヲナス

一、期限ハ<sup>向</sup>拾年トス但シ甲が或理由

ノ為メ住宅ヲ第<sup>三</sup>者ニ借家セハ

讓渡ノ場合ニハ讓受人ニ本契約

ヲ遵守セシムルコト

一、借家料ハ一月金壹拾年トス

甲が此米<sup>米</sup>評議印刷料金貳拾年ト

相殺スルモノトス

但シ甲が定期利以上ノ手数料ヲ充

行スル場合ニハ金回五<sup>五</sup>割ノ

ヲ乙ニ支払フモノトス

昭和<sup>二</sup>五年八月一日

加<sup>加</sup>以<sup>以</sup>重<sup>重</sup>信<sup>信</sup>市<sup>市</sup>上<sup>上</sup>街<sup>街</sup>ニ<sup>ニ</sup>在<sup>在</sup>る

池田貫道

乙

加<sup>加</sup>以<sup>以</sup>重<sup>重</sup>信<sup>信</sup>市<sup>市</sup>上<sup>上</sup>街<sup>街</sup>ニ<sup>ニ</sup>在<sup>在</sup>る



assigned to  
General Publishing Corp.  
~~W. H. Wood~~  
11



推薦狀

今般本會總會ノ決議ニ依リ貴氏ヲ以  
テ本年度本會會堂購入委員ニ推薦仕候間  
何卒本會ノ爲メ御盡力被下度右御依  
賴申上候也

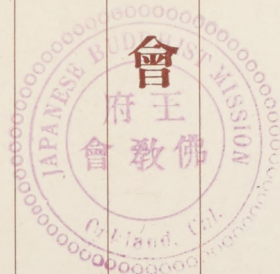
大正拾貳年貳月十八日

王府佛教

會

府王  
會教佛

池田貫道  
殿









大正九年冬月拾六日

王府日本人會

會長 矢幡富藏



池田貫道殿

謹啓

陳へ去月中西國寒月流行の砒本會施設  
の臨時収容所の為に身も挺し其の難局に  
當り我等の目的も一遺憾なかりしを  
貴下の御盡力に對し謝するに辭なき  
茲に金壹封也贈呈し其の感謝の微衷を  
表し申候御受納被下候に幸甚

敬具



**SUPPLEMENTAL INTERNATIONAL ADVICE**

To be filled in by the remitter in his own writing and, if possible, in the language of the country of payment

Must be used for all orders on Greece, the Kingdom of Yugoslavia, and China; and for orders on, or through, Japan, when the remitter and payee are Asiatics

Please pay the amount to

Sirvase Vd pagar el importe á

Podać nazwisko osoby której suma ma być wypłacona

Der Betrag soll bezahlt werden an

Beloppet skall utbetalas til

Molim novac isplatite g

Молим новац исплатите г

NUMBER OF ORDER

M. O. B. STAMP

匯金人及受取人之姓名及金額  
請以認明

匯金受取人之姓名及金額  
請以認明

Γράψατε εύκρινώς Ἑλληνιστί τήν ἐν Ἑλλάδι  
διείθυσιν τοῦ παραλήπτου ὡς καί τό ἀληθινόν  
ὄνομα καί τό παρωνόμα του ὅπως εἶναι γνωστόν ἐν  
Ἑλλάδι. (Ὅχι ὅπως γνωρίζεται ἐν Ἀμερικῇ.)

(Signature)

Remitter.  
Remitente.  
Absender.  
Afsenderen.  
Posiljalac.  
'Ο' Αποστολεὺς.



Should the issuing postmaster be in doubt as to the particulars of an application, this supplemental form is to be used in addition to the advice. It does not, however, absolve the issuing clerk from copying on the latter document as legibly as possible every particular relating to the payee which is given by the remitter in his application.

It is essential that the address of the payee be correct, and that no part thereof be omitted. Localities in foreign countries are, as a rule, described in greater detail than is the custom in this country, and the issuing clerk should make every effort to obtain such addresses in full. It is also advisable to include the occupation of the payee.

This supplemental slip is to be attached to the original advice.



$388.45 / 100,000 (2.8)$   
 $388.45 \times 100,000 = 38,845,000$   
 $38,845,000 - 38,845,000 = 0$   
 $28.31 \times 100,000 = 2,831,000$   
 $2,831,000 - 2,831,000 = 0$   
 $1.49 \times 100,000 = 149,000$   
 $149,000 - 149,000 = 0$   
 $2.15 \times 100,000 = 215,000$   
 $215,000 - 215,000 = 0$   
 $78010$

$100,000 - 30 \times 4830.00 = 10800$

$385.45$   
 $2000$   
 $770,900.00$

送金方法は東京銀行横浜支店を受取人とした米貨送金

小切手を此申込書に添へて弊社へ送て下さい

此送金は日本に於ける公定送金手数料として一件に付

百圓を申受けます

東銀ギフトチエツキ「贈答用小切手」のサービスを御  
 利用下さい。御送金の内容を御知らせ下されば弊社に  
 て適宜御用向にふさはしい意匠のカードを選定して送  
 金小切手に添へて御送り申上ます。受取人は此カード  
 を貴方より送金を受けた記念として保存する事と成ま  
 す。表側の申込書送金理由欄に記載した該當事項を○  
 印で囲んで下さい。

Simple way of making a remittance is to send to  
 the Yokohama Branch Office, U. S. (Dollar) Check or  
 Demand Draft, payable to our order (say to The  
 Bank of Tokyo, Ltd., Yokohama), together with this  
 Application form.

In abiding with your instructions, we will  
 charge a nominal (minimum) fee of ¥100.00 for  
 each Remittance.

Our GIFT CHECK (defined as a gift to some-  
 one) is available, and we would urge you to facilitate  
 upon this SERVICE. At your suggestions, our  
 Yokohama Office will do whatever is expedient to  
 one's desire. Your GIFT CHECK will be sent, encl-  
 osed in a BEAUTIFUL, DESIGNED FOLDER, suita-  
 ble for all occasions.

The Beneficiary will keep this BEAUTIFUL  
FOLDER as a REMEMBRANCE, a memento of your  
 Remittance.



# The Bank of Tokyo, Ltd.

No. 60, 5-chome, Minaminakadori,  
Nakaku, YOKOHAMA.

## REMITTANCE

Date \_\_\_\_\_

### 郷里送金申込書

店長席	關係課	起票課

送金 #

米貨送金額 Amount U. S. \$

Beneficiary  
受取人姓名

Address

住所

(邦字にて)

市  
府  
縣  
町  
村

大字

區  
郡  
番地

Remitter

差出人姓名

Address

住所

(邦字及英字)  
(英字にて)

金額現金收納振替判

送金理由 御年玉、クリスマス、御中元、入學、進級、卒業、結婚、出産、香奠、其他

Remittance felicitations: Oseibo, Christmas, Obon, Graduation & Promotion, Marriage, Birth, Obituary, etc.

Be sure to check the desired word to denote your felicitation.

Note: Please write within this line.  
御注意 太線内各欄に御記入下さい

Please do not write on this side.  
細線内各欄は御記入の要はありません



東京銀行  
横濱支店  
740

株式會社

# 東京銀行横濱支店

横濱市中區南仲通五丁目六十番地

昭和 年 月 日

歐文電信宛名略字 TOSHANK  
和文電信宛名略字 トウバンク

振替口座横濱 二二二二一

電話 本局②三、一三一  
代表 番號 本局②三、一三一

昭和二十六年四月十日

235 7th Street Oakland Calif.  
池田 貴之 殿

株式會社 東京銀行横濱支店  
預金課

拜復 貴殿益々御清祥の趣御同慶の至りに存じます。  
扱去る三月廿九日附貴翰を以て舊横濱正金銀行預金、圓弗交換比  
率、郷里送金手数料等に關し御照會に接し委細正に拜誦致しました  
御尋ね下さいました諸點に就き左記の如く御回報申し上げますから  
貴地の皆様にも宜敷御伝達下さる様御願ひ申し上げます。  
一新舊勘定に就て

一九四六年即ち終戦の翌年に戦時中及戦后極度に混亂し危陥に  
頻した日本の經濟を安定させ、經濟復興の基礎を作る爲の緊急  
非常手段として執られた日本政府の應急措置であり日本國內銀  
行預金を新勘定と舊勘定とに分割し、各銀行の舊債權債務の整



卷之四

東京銀行附屬支店

金



株式會社

# 東京銀行橫濱支店

横濱市中區南仲通五丁目六十番地

昭和 年 月 日

歐文電信宛名略字 TOSHIBA  
和文電信宛名略字 トウバンク

振替口座横濱  
振替口座東京 二二二二

電話 本局〇三、一三一  
代表番號 本局〇三、二三一

理に當てられたものであります。

従つて一九四六年以后に出來た預金に就いては全く無關係のも  
のにて又將來此の種の預金封鎖措置が行はれる事は絶対に考へ  
られません。

亦現在海外居住者の預金は非居住者預金として一々大蔵省に報  
告せられて居り、戦争勃發其の他の際にも當然保護優遇措置が  
講ぜられる事が豫想せられますので、今後の預金に就いては新  
舊勘定分離等のことに關する心配は全くありません。

## 二

日本圓と米國弗との交換比率に就て  
現在日本に於ては外國爲替の管理が行はれて居り、外國爲替管  
理法に依つて、大蔵大臣が單一の基準外國爲替相場を決定する  
事に定められて居ります。

又外國爲替取引に於ける賣相場買相場並に手数料に就ても外國  
爲替管理委員會が單一の相場を決定し、此の公定相場或は手数料  
以外の交換比率を以て取引を行つた場合には罰せられる事にな  
つて居ります。

海外から送金して預金を開設する場合或は郷里に送金する場合



株式會社

# 東京銀行橫濱支店

地番六十丁目五通仲南區市濱橫

昭和 年 月 日

歐文電信宛名略字 TOWNKAZ  
和文電信宛名略字 トウパンク

振替口座橫濱  
振替口座東京

二二二二二

電話 番號  
代表

本局②三、一三一  
本局②三、一三一

等は何れも前述の外國爲替取引と見做されることは明かにて、  
公定の買取相場（銀行が顧客から米貨弗表示の小切手を買取り  
圓貨を拂ふ場合の交換相場）は US \$1.00 : ¥358.45 となつて居り  
ます。従つて個人或は商社で右の一弗對三五八圓四五錢以外の  
交換比率を以て交換する者があるとすれば當局に發見され次第  
取引双方共罰せられる事になりますので甚だ危険な取引を行ふ  
事になります。

當店に於て御取扱ひ致して居ります海外預送金は總て正當な手  
續を以て圓貨に換算し、外貨（弗）送金に依つた非居住者の預  
金或は送金である事の記録も保管せられます爲に將來圓貨預金  
を弗を以て御拂戻す必要が生じた場合等優先的措置が講ぜられ  
る事が出来ますが不法な方法に依つて、圓貨に換算せられたも  
のに就いては全然保證の限りではありません

## 三 送金手数料に就て

日本の國內各銀行に於て送金爲替を組む際の手數料は送金金額  
五千圓未満、五拾圓、五千圓以上百圓となつて居ります。  
然し乍ら海外の皆様よりの郷里送金を取扱ふ際には送金小切手



昭和 年 月 日

歐文電信宛名略字 TOHFAK  
和文電信宛名略字 トウバンク

振替口座横濱 一  
振替口座東京 二二二二一

電話 本局〇三、二三一  
代表番號 本局〇三、二三一

# 東京銀行横濱支店

株式會社

横濱市中區南仲通五丁目六十番地

を送金受取人宛に、書留郵便を以て御送り致しますので書留郵便料金參拾八圓及び送金小切手は東京銀行特有の贈答用小切手へギフトチエツクとして御送り致しますので此の代金參拾圓がかかり實際の費用は合計最底金百拾八圓也となります。御承知の如く、海外よりの郷里送金は一件五千圓以上のものについて、總て一件につき手数料百圓のみを以て特別のサービスを致して居ります次第にて此の點貴地よりの送金希望者に御伝達下さい。

尙此の贈答用小切手は、御用向によつて各種のものを準備して居り、茲許御同封申上げた如く美麗な表紙を附し皆様から非常な御好評を戴いて居ります。従つて御送金を御用命の際には必ず用向きを御申添へ下さる様御伝へ下さい。

以上申述べました他海外の送金人或は送金取次人宛には當店より内地の受取人に送金爲替を取組んだ旨の御報告を致して居り總て確實迅速を期して、日夜努力致して居りますから何卒御安心を以て内地圓預金、郷里送金等には是非當店を御利用下さる様御願ひ致します。

敬具



日米時事住所録申込用紙

(英字は成るべくタイプライターにて願ひます)

姓日本  
名字

姓英  
名字

住  
所

(英字)

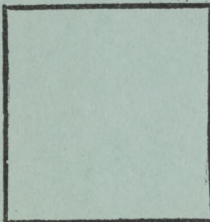
電  
話

(英字)



**JAPAN**

Stamp of issuing office.

**Post Office Department****THIRD ASSISTANT POSTMASTER GENERAL**  
**DIVISION OF MONEY ORDERS**

Advice sent through the Exchange Office at

U. S. MONEY

No. \_\_\_\_\_ Amount, \$ \_\_\_\_\_

No. \_\_\_\_\_ Amount, \$ \_\_\_\_\_

(Space above this line is for the Postmaster's record, to be filled in by him.)

**日本宛為替用紙**Application  
for**International Money Order** Payable in Japan

(Spaces below to be filled in with pen and ink by the applicant, or by some person for him not connected with the Post Office.)

(If the remitter and payee are Japanese, Chinese, or Korean, Form 6083 should be attached to the advice.)

日附ヲ記入スベシ Date \_\_\_\_\_ 19\_\_

[Date must not be omitted.]

**金額**

For the sum of \_\_\_\_\_

and \_\_\_\_\_

**受取人姓名**

Payable to \_\_\_\_\_

受取人  
宿所  
ADDRESS**市町村**

Town or City, \_\_\_\_\_

**番地**

No. \_\_\_\_\_ Street

**区又ハ郡**

District, \_\_\_\_\_

**府縣**

Province, \_\_\_\_\_

**國**

Country, \_\_\_\_\_

**差出人姓名**

Sent by \_\_\_\_\_

(Write here the name of the Remitter.)

差出人  
宿所  
ADDRESS**番地**

No. \_\_\_\_\_ Street

**市町村**

Town or City, \_\_\_\_\_

**州**

State of \_\_\_\_\_

(裏面ヲ見ルベシ)

(See other side)



# JAPAN

## Fees charged for Money Orders payable in Japan

For orders from \$ 0.01 to \$ 10.00...10 cents

From \$10.01 to \$ 20.00...20 cents

From \$20.01 to \$ 30.00...30 cents

From \$30.01 to \$ 40.00...40 cents

From \$40.01 to \$ 50.00...50 cents

From \$50.01 to \$ 60.00...60 cents

From \$60.01 to \$ 70.00...70 cents

From \$70.01 to \$ 80.00...80 cents

From \$80.01 to \$ 90.00...90 cents

From \$90.01 to \$100.00...1 dollar

九	八	七	六	五	四	三	二	一	壹
拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙
九	八	七	六	五	四	三	二	一	壹
拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙
九	八	七	六	五	四	三	二	一	壹
拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙
九	八	七	六	五	四	三	二	一	壹
拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙
九	八	七	六	五	四	三	二	一	壹
拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙

日本宛爲替手数料

**Note.**—The maximum amount for which a single money order may be issued is \$100.

The full address of the payee must be given including the street and number if he resides in a city. If the payee is a soldier, the arm of the service, rank, number of the regiment and company should be stated; if payment is to be made to a married woman or widow her husband's name should be furnished as well as her maiden name.

注意—金口、爲替ニテ送り得ル最高金額ヲ示す所ナリ  
 但同額以上、送金ヲ爲スルニハ、六、別口、爲替ノ取扱ニテ、得  
 外國爲替ニ同一、差出人ヨリ同一、受取人ニ對シ同口、爲替ニテ、送金  
 受取人、住所姓名ヲ詳記スル、若其受取人市、居住ニテ、町名番地  
 明記シ、軍人ナリトハ、其所屬兵科官位及聯隊名、明記シ、又其夫、婦人  
 若、寡婦ナルハ、其結婚前、姓名及夫、本名ヲ併記スル



横濱市中區南仲通五丁目六〇番地

株式會社 東京銀行横濱支店

殿

拜啓 遠く海外に在つて愈々御清榮の趣慶賀申し上げます。

海外の皆様から永年に亘り御引立いたゞきました横濱正金銀行は戦後占領軍命令により閉鎖されることとなりましたので、一九四七年一月よりその國內店舗、行員及國內業務の一部を引継ぎ東京銀行として再發足致しましたところ、幸い業務は極めて順調に發展し、今日では貿易爲替その他あらゆる面で日本の代表的な銀行としての地位を確立するに至りました。これもひとえに皆様の御愛顧の賜物と感謝申上げて居ります。

さて戦前皆様が横濱正金銀行の海外支店を通じて同行本店に預金された海外特別定期預金の現状及び今後の處理方法につき甚だ遅ればせ乍ら次の通り御説明申し上げます。

一、一九四六年日本では敗戦により混亂した日本經濟を安定させ、經濟復興の基礎を作る爲の緊急非常手段として金融機關經理應急措置法及金融機關再建整備法が施行されました、日本國內の銀行預金は各銀行共すべて預金者の申請により次の基準に従つて新勘定と舊勘定に分離されました。

- 1、新勘定(自由預金)
  - a 一口三千圓以下の預金
  - b 一口三千圓以上の預金については一名義人毎に合計して壹萬五千圓迄の金額
- 2、舊勘定(封鎖預金)

一名義人毎に預金金額を合計して壹萬五千圓を超える金額海外居住者の御預金は右の申請手續の關係上全額舊勘定となる虞がありましたので、横濱正金銀行本店では再三に亘り日本政府と折衝した結果銀行が預金者の代理人として申請することを許されましたので、海外特別定期預金についても御一人名義金壹萬五千圓迄を新勘定として確保することが出来ました。

右の新勘定は正金銀行閉鎖に伴い東京銀行横濱支店に引繼がれて、正金銀行時代と同様半年毎に利息を計算して元金に加算する方法により御取扱を致して居り現在では末尾記載の通り金額も増えて居りますから御安心下さい。

この御預金は御申出がない限り今後も半年毎の複利計算をつゞけて参りますから御書替になる必要はありませんが、預金金額を増額される場合、日本内地で圓貨で拂戻をうけられる場合、又は内地の御親戚、知人等に御送金になる等の場合には預金證書裏面に御届出通りの署名又は印鑑を押捺して御送附下されば當方にて一切の手續をお取計致します。

三、舊勘定となりました分は東京銀行に引繼がれることなく、閉鎖機關横濱正金銀行の債務として唯今は閉鎖機關整理委員會の手により整理中でありますが、その清算事務の進むに従い逐次分割支拂が行われる豫定であり、既に昨年(一九五〇年)七月から一部拂戻が開始されて居ります。

閉鎖機關整理委員會から右の拂戻を受領する爲には支拂の行われる都度代理人をたて、受取方法(日本の御親戚、知人に對する圓貨支拂或は日本の銀行へ貴殿御名義にて預金する等)を御指定になるなど煩雜な手續が必要であります。

ついでに當行は海外の皆様のお便宜をおかりする爲御手許の預金證書裏面に別紙委任狀用紙に、御預金の際お届出になつてゐる通りの署名又は印鑑を押捺してお送り下されば、東京銀行にて御預りしている御預金の預金證書を御返送申し上げ、閉鎖機關整理委員會で整理中の部分は貴殿の代理人として今後拂戻のある都度貴殿に代つて受取り、新預金證書を作製して御送附すること、致し度く存じますから是非御利用下さる様御依頼申し上げます。

以上申し述べました通り當行は海外關係業務に關する舊横濱正金銀行以來の經驗を活用して他銀行の追隨を許さぬ萬全のサービスを準備致して居りますから今後共従前同様御利用下さる様御願申し上げます。

敬具

貴殿名義定期預金

證書番號

證書金額

東京銀行に引繼がれた預金金額

現在殘高

當第

號金

金

金

Handwritten calculations and notes at the top of the page, including various numbers and dates.







# 日本向送金案内

## ★ 預金又は郷里送金をする爲には

一、米貨の送金小切手を申込書と共に當店に御送り下さい。  
申込書が御手許に無い場合は、必要事項を記載した御手紙を御同封下さい。

二、送金小切手は「東京銀行横濱支店拂」とし、受取人名義も同様に當「横濱支店」即ち Pay to The Bank of Tokyo, Ltd, Yokohama として御指定の上御作成頂けば最も便宜です。

三、併し前記送金方法が作成出来ない場合は、左記の如く御手續下さい。  
イ、送金小切手面の受取人は、東京銀行横濱支店、即ち Pay to The Bank of Tokyo, Ltd, Yokohama として下さい。

途中の間違を防ぎ、確實に當店が受取りが出来る様に、受取人を當店に御指定願います。

ロ、送金小切手は横濱拂又は東京拂が最も便宜ですが、紐育、桑港拂でも御取扱致します。

横濱には「ナショナル・シチー銀行」、「バンク・オブ・アメリカ」、「東京には、「チエーズ・ナショナル銀行」の支店が有りますから之等三行拂の送金小切手を御取組になるのが便宜です。

四、右米貨送金を受領次第、當店は公定交換比率、一米弗に付三五八圓四五錢の割合にて圓貨に換算し、「定期預金證書」又は「郷里送金取組通知書」を作成して御手許に郵送します。

五、當店の定期預金は一ヶ年毎に復利計算で元金に加算し、十ヶ年間書替は要りません。日本國內に於ては何時でも出せますから、母國御訪問の積立金には至極便利です。亦郷里送金にも充當出来ますから、不時の支出に備へ高利率の定期預金を御利用下さい。

此預金は日本の外國爲替管理法に準據して、特に海外在住者の預金として政府に届け出て有ります。従て内地の預金と區別して將來特別に有利な取扱を受け得られる事に成て居ます。

六、現在定期預金利率は年利五分です。之は貴地の利率より遙かに高率ですから利廻りの點から有利な圓貨定期預金に預け替へする事を御薦め致します。

七、日本向の預送金は必らず當横濱支店に御取組下さい。北南米からの、「エアー・メール」は全部、當横濱に隣接した羽田空港に到着し、直ちに當店に送られます。當店は郵送の米貨送金小切手を、即日當地で圓貨に交換して預金證書の作成、及送金の手配を致します。日本國內の如何なる土地、例へば御郷里へ米貨送金小切手を郵送されても、結局は外銀所在地へ再度郵送して圓貨に交換せねばなりません。従て、其間の間違や郵送日數の浪費を避ける爲正金以來海外預送金の専門取扱店である、當横濱支店に御送り頂く事が最も確實で迅速であります。

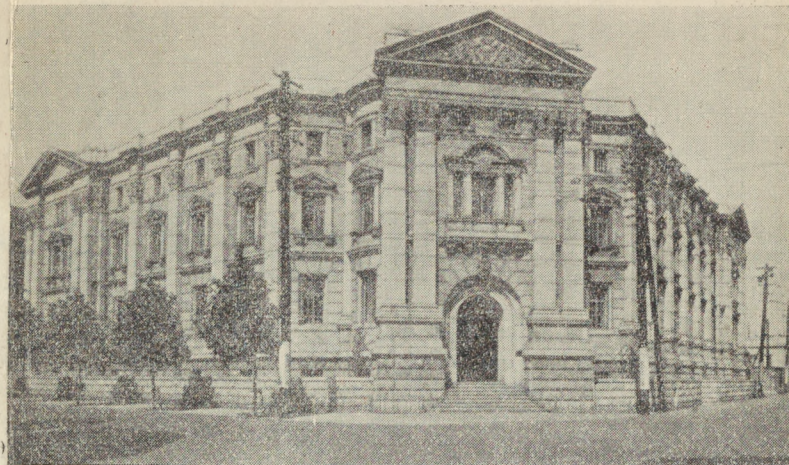
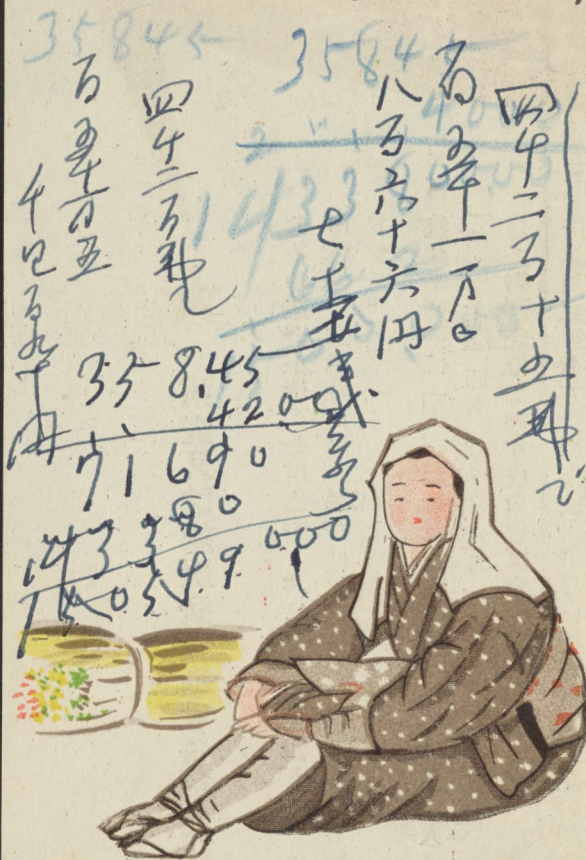
八、郷里送金には東銀ギフトエツキ（贈答用小切手）を御利用下さい。御送金の内容を御知らせ下されば弊店にて適宜御用向にふさはしい美しい意匠のカードを選定して送金小切手に添へて御送り申し上げます。受取人は此カードを貴方より送金を受けた記念として保存する事と成ります。

九、海外の預送金には専門の智識と技術が要ります。送金上のトラブルが生じた場合、外國銀行に直接交渉をしたり、長期に亘る定期預金に付て絶へず海外の預金者の利益擁護の方法を工夫して居るのは正金七十年の傳統を繼承した東京銀行の特色あるサービスです。戦後全國の銀行預金が封鎖された當時、政府に申請して北南米在住者の預金中一萬五千圓迄を舊正金預金より東銀預金に移して預金者が御歸國の場合は直に御支拂出来る様に、又何時でも郷里送金に充當出来る様に、措置して預金者の利益を擁護した事は實に當店の特色あるサービスで他の追隨出来ぬ處です。封鎖措置や預金切捨は、國家非常の場合採られた止むを得ざる手段ではありますが、信用を基礎とする金融機關として預金債務の完全な履行は道義上絶対的なものであり、當店が遠く異郷に在る預金者より絶大な信頼を受けて居るのも一つに此誠意有るサービスに懸て居るのであります。

當横濱支店に於ては海外の預送金取扱に長年の經驗を持つ舊正金行員を皆様のサービスに専任させて居りますから絶対の御信頼を願います。



# 海外の皆様に



永年に亘り海外の皆様のお愛顧を戴いて居りました横濱正金銀行は戦後連合軍の命令により閉鎖されましたが、其の際正金銀行の日本國內の店舗、行員及び國內資産を以て新しく東京銀行が創立されることとなり一九四七年一月開業致しまして、以來業績は着々と發展し一昨年十一月には外國爲替銀行としての免許を受けるに至り、他行の追隨を許さぬ地歩を築き上げつつありますことは既に御存じの通りであります

當行は海外の皆様へのサービスとして在外者預金、郷里送金並に旅行小切手 (Travellers Check) 等皆様の御役に立つ業務を取扱つて居りますから何卒舊正金銀行と同様に御引立の程を御願ひ申し上げます。

一九五一年二月

東京銀行  
横浜支店

## THE BANK OF TOKYO, LTD.

No. 60, 5-Chome, Minaminaka-dori, Naka-ku, Yokohama.

To our Patrons.

### Guidance for Yen Deposit and Remittance to Japan.

#### Methods is simple

Just send us a U. S. Dollar Bank Check or Draft, together with the application. If the proper application form is not at hand, please write the necessary matters and enclose it in your letter. To make sure that the Check or Draft is in our favor, namely, (Pay to the order of The Bank of Tokyo, Ltd. Yokohama). This is a precaution to prevent an error or delay during enroute.

#### Banking Facilities

Foreign Banks located at YOKOHAMA.

The National City Bank of New York  
Bank of America, N. T. & S. A.

Foreign Banks located at TOKYO

The Chase National Bank of the City of New York  
Bank of America, N. T. & S. A.

Checks or Drafts drawn and payable on the above described Banks are especially convenient. We do accept, also Checks or Drafts payable at San Francisco or New York.

Upon receipt of your U. S. Dollar remittance, we will immediately compute at the Official Exchange Rate (Say \$ 1.00 @ 358.45) into Yen, and in return, we will send you Yen Deposit Certificate or a Remittance Receipt, accordingly to your instructions.

#### Interest

This Certificate bears interest at 5% p. a., calculated annually at compound interest and added to the principal. Our rate of interest is high, compared with your Locality, and we assure you, that the rate of interest will increase and not decrease.

#### Renewal

Renewal of said Deposit Certificate is not necessary for the period of ten (10) years. If need is imperative, withdrawal is permitted.

#### Non-Resident Deposits

At our discretion, this unique type of Deposit was arranged only for the convenience of the Oversea Residents. Pertinent to the regulations of the Foreign Exchange Control, we have duly notified and submitted to (Okura-Sho) Finance Minister, the above described deposit. In the future, it is our earnest desire to handle non-resident deposits, exclusively, and apart from the other deposits.

#### Benefit

Upon your visit to the Mother Country, the accumulated savings is exceedingly convenient for your personal use. On the other hand, should you desire to give partial or full amount from this deposit to your relatives or friends, just send us the Deposit Certificate, duly signed, together with your instructions.

#### Thrifty

We wish to take this opportunity, to encourage you to be Thrifty. To Save means Success. Success leads to Happiness. Happiness offers Golden Opportunity. Save for Better Home and to enjoy Life.

We are always at your Service. Should you desire any information relative to the above, please do not hesitate to call or write to us.



Phone ANgelus 5580

HIGASHI HONGWANJI TEMPLE

118 North Mott Street, Los Angeles 33, Calif.

東本願寺羅府別院



Mr. K. Ikeda

235 17<sup>th</sup> St.,

Oakland, Calif.





SAVE THE EASY WAY  
BUY U.S. BONDS OR  
PAYROLL SAVINGS



Mr. K. Ikeda

235 — 7<sup>th</sup> St.

Oakland, Calif.



京都市烏丸七條  
東本願寺

HIGASHI HONGWANJI

KARASUMARU, SHICHIJO

KYOTO, JAPAN



即啓 この度アメリカを訪ねて各地を  
 巡り各地を歩きまわった所は思ひの外  
 ぬに懇話と云ふし深く感佩して所  
 りまに おかげさまで予定の通り巡礼の  
 旅をつけ帰る。去る二十一日（廿二）  
 帰朝しました。短時間の間にも多々た  
 見聞ではありましたが、教へるところは新  
 ならず 佛教に世界にも多くを貢献に就  
 くるも考慮せられたと喜んで居る  
 ます。貴方に就いても、殊に建築にお  
 ける精進のほどと念じます。 不取敢す  
 禱として謹言し置きます。

昭和二十二年十二月廿五日

大谷光暢

大光智子

瀧 合雄  
 福 山 信

池田貝道様







昭和二十八年八月十八日

横浜市西区宮崎町五八東銀ビル内

419 West 121st Street,  
New York City 27, N.Y.

辻 直



池 田 美 栄 子 殿

拝啓 ますます御元氣のこととお慶び申し上げます。

陳者東京銀行紐育支店經由同行横浜支店宛御指図ありました定期預金証書の元金の中、拾萬円は同行横浜支店に於て北海道余市町字山~~磯~~猪俣タツ殿宛送金致し、残額並に利息については新定期預金証書に書替を受け小生が貴殿友人として代理受領の上同封御送附申上げましたからお受取り下さい。  
尚猪俣タツ殿へは横浜支店より送金受領の上は貴殿宛御知らせするよう御連絡申し上げます。

敬 具



[illegible]



司婚辭

明治四十年十月二十一日新夫増田寅三郎士  
新婦永松國子女婚儀ヲ

佛陀尊前ニ舉手行スルニ方リ西者ニ

誓言言シ求ム

新夫増田寅三郎士ニ告ル

敬ニ伴フ愛ヲ以テ能ク夫タル本分ヲ

盡クシ終世苦樂ヲ共ニセシテ誓言言

セラルベシ

新婦永松國子女ニ告ル

愛ニ伴フ敬ヲ以テ能ク妻タル本分ヲ

盡クシ終世苦樂ヲ共ニセシテ誓言言

セラルベシ

茲ニ両者ノ誓言言テ得テ一堂未會ノ

諸兄弟共ニ圓滿ナル婚儀成立ヲ認メ

深ク佛祖ノ恩徳ヲ謝ス

冀クハ佛天ノ冥助永シヘニ新夫妻ノ

上ニ在リシコトヲ虔ニテ白ス



讀池田忠道先生著書  
第一卷

覃忠檻車編亂離  
立言唱義體天儀  
楚囚堅節論秦史  
莫記陳雲王道垂

山口歌年

649 10th



第二卷

日本戦争 裏面史 (戦時下日本人と)

本國の實情) またかゝる受取りよりた  
大変愉快にして興味深い大記録  
として痛快に讀まうともうそ  
右の御著の代償として郵送いたし  
還きよりから御受取り下さい  
小生新住所に移轉致しよりたから  
新住所もついに御通紙申しより  
こちらに御出いの節は御たちより  
下さいますよう)

大月 孝三郎

881 ELGIN ST,  
SAN LORENZO. CAL











(昌 井 々 田)







274  
2/3

午

近き要旨を採擷する儘にあり、その取二之を以て  
 讀破片を會に真相と感ぜられ、其の右  
 ります。今其の終に雜誌の小説に有る文あり  
 よつてあきらかにあるも、皆事實の真なる點に  
 自らの欠点の點と誇大なるあり、空想的小説の  
 現在を以て一世紀の文學として、其の真を知るも  
 二十五年の後の世に於て歴史と事實とを並置せる  
 ものも、其の代りあるもの、其の代りあるもの、



JIRO OYAMA

2219 South 4th East Street

Salt Lake City, Utah

Phone 7-7418

千九百

年

月

日

始めに値あるものを得ます

戦勝敗より凡ての

一箇由を拘束せられしを得る現を以てあるは後

日よ於て福を遺する事と成るを痛く思ふす

けの者と別清りて快哉を叫ぶ者歟あるを信ず

今や小生は病のなめぬりとも片にす

ふや一他原状態にあるや今と此は如何なる人

びもまた清者と集めたいのふまにすらも事ある

まはせぬ

ふお益々一併に耐つてを祈る

池田先生

山次郎

大山次郎用箋



# 楮寸教文

Sub specie eternitatis — Under the form of eternity --- Spinoza

池田貫道先生

一九五二年三月三日

梅府にて  
伸一武

相後 高若

日本戦争の裏面史は後世  
の学者と益すること甚大である  
信じ先生が益々御健筆を揮  
ひたまふやう祈ります

一九四二年三月のイスター日曜の朝  
モンタナ州ミゾラの収容所内に建



# 楮寸教文

Sub specie eternitatis — Under the form of eternity - - - Spinoza

設しまし「十字架」の記録  
 は佐々木さくね氏の著書より  
 見えぬ。霊界の事情を衆  
 へある人々は別として先生  
 の待霊筆による後世は  
 つつさうはち懐かしく  
 右石より先生に期待  
 ます。その詳細は他の  
 内田先生がよく知つてゐ  
 ます。

敬具



おはる

本日は多末主人来訪、11日の結刊見布を村々さん

ました。が、清送りの中上やます。このお談の結果、

五多活字のよしのり清送りのすが九ポイントの組

んだ。二が、良いと存じます。九ポイントの方を清す

す。致しませうと申して、右りました。

即ち五多と九ポイントと二通りの見布組判を

清送りに入りました。清取捨何れと。

郡と村とも清送りとついですが、印刷の云々には

夫れでは申し、お交りしのが出来上り見せしめから

矢張り原稿通り郡と村とを入る。にしたい

と。ついで、私も、お交りし。五多の、五多の、五多の、

五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、

五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、

五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、

五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、

五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、

五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、

五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、

五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、

五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、

五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、

五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、

五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、

五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、五多の、

池田見上 傳史

四月廿九日

21, 21



あ、異

須藤君にオモヤ、子カチウ、ユーカー、紙入れ、人形等  
あやめいぬーもた、ぬろゑすか、何ーうど人なものの  
かよりか二世のお嬢さんのおぬみがむづかーい  
あ、矢張り草むし、みええさんと和よさん（し通き）に上ず  
て下さいませ。

さて四月七日に和かあやめいぬーもたの「塔」に  
スルセツトとレーンズート（お代甲）お送り下さいませ

池田 兄上 様

お代

一、ニーセツト色 白色 サイズ 28in（ラバーと布製のもの）

一、レーンズート（お代甲） サイズ 新製色 白又ハウスアズミ色

（私の元型寸法）  
胸圍 34in  
背丈 15in  
巾 14½in  
腰圍 37in  
スカ 26in  
脚圍 28in







買物あわかい

一 女おオットコート ~~（色子ズミ無地）~~

一 格付スーツ ~~（色子ズミ無地）~~

一 格付フーに印いふつろろ長袖

一 冬うんドレス

靴

一 名金おフレカウレヤフ

（色子ズミ無地）  
（サイス）

一 名金草子袋茶色

一 フォ（洗滌と）  
トイレント

一 バター（と4.5.すかうカレ）  
ナレこ下玉い

一 4.5.エリートキヤンデー

一 コムドクリーム大ニ

一 フニスバラカ（粉留）  
色ハタ色

一 口紅

一 須藤芝におおひするつろろ  
ネクレスと耳と腕におおひ

絵型品物に  
乃てあてり下玉い。

靴  
（サイス）

名金の  
おあひす  
（色子ズミ無地）  
（サイス）







其中心より而カモ各々其目的トスル一派ノ安危存亡ノ管見未ナ  
ク候間 皇下希クバ此際深ク内外ノ狀勢ニ照シ万務公  
論ニ交スル原則ニ基キ賜ヒ一刀ノ下ニ御英断アラセラル革  
新ノ輿論ヲ御採納アラセラル速ニ御実行遊サレ候ヘハ將サ  
消スル無シトスル大谷法灯赫々トシテ再ヒ日月ト其光ヲ多ク  
ニ多ク道等ノ信シテ疑ハサル也ニ候然ル明治廿年二月十八日  
以テ諸國上京委員及主唱者等二百余人ヘ一同御面謁  
仰セ付ラレ請願書御受理遊ハサレハ趣キ聞キ及ヒ一同喜悅  
罷在候処未タ御採可御実行遊サレハ趣キ聞キ及ヒ一同喜悅  
以テ上京委員悉ク一國若クハ一縣少クモ一團體ヲ代表セシ  
メ

ニ御坐候ヘカ一請願ノ趣旨御採可御実行無之候節  
ニ復退生致シ不申ト改心シテ皆深ク期スル也ヤルモ、如ク自ラ  
最後ノ改心ニ至リ英氣凜々トシテ當ニカカルノ有様候者シ  
御採可御実行遊ハサレハ革新ノ目的達シ難ク候ヘハ斯  
レ世人ノ嘲笑ヲ受ル本山ノ下ニミツシ忍ビス万止リ得ズ以テ等數  
万ノ清願人ヲ始メ悉ク脱派ヲ勸メ合ヒ清潔ナル本山下ニ  
宗祖ノ御崇教ヲ信シ奉シテ致スル難斗候間 今圓ハ特  
別ノ恩召ラシテ彼不正不徳ノ役負者ノ御申達ヲ待  
ミ至フナリ速ニ御実行遊ハサレ度若シ今ミシテ其御英  
断無之候ヘバ百年ノ大計今ナリ候ヘテ測ラサル不運ニ



ラハ一派ノ隆盛ヲ企圖スル一甚々艱難ノ一ト奉存候然ル  
ニ當路者ハ自己ノ采利ヲ貪リ其推勢ヲ弄セカ為メ之等ノ  
一ヲ見聞スルモ敢テ顧ル一ナリ人々之ヲ詰責致シ候ハ罪ヲ  
臺下ニ歸シ奉リ忠言上申スル御旅弼ナキヲ如何セント只己レ獨  
リ其責ヲ避ケント致シ居リ候而シテ之等ノ一悉クノ臺下ノ  
関知シ玉フ処ニ無之候ヘドモ當路者タルモ其責ヲ明ニ致シ不申  
候間局外ノモノニテ之ヲ臺下ニ歸シ奉リ示止ヲ得ラル一ニ候  
嗚呼如何當路者ノ失政ヨリ内訌ノ生セシ一再ニ無之内訌  
尚恐スレ候ヘトモ外門末ノ疲弊ヲ来シ一派ノ信御ハ之カ  
為ニ職故モ本山ノ信用ハ之カ為ニ地ヲ拂ヒ候ニ至リテハ悠々看

過スヘキ秋ニ至之ト存シ候爰ヲ以テ愛山憂宗廣通ノ士内々  
フリテ鞠躬力及シ忠言致シ候モ頑然闔入不申候間無  
據有為ノ士断然袂ヲ拂ヒ去ケテ白川村ニ根柢ヲ固メ候ヘテ敢  
男時言ハレ雜誌ヲ發刊シ以テ之ヲ社會ニ訴ヘ候ハ全國ノ門  
末挙テ之ニ賛成シ一派ノ弊政ヲ刷新シ大ニ面目ヲ改メント致  
シ居候処當路者大ニ狼狽シ之ヲ壓倒セシカ者ニ至頻リニ妖僧  
ヲ地方ニ送りノ負債ノ負債ヲ重子テ慢然其職ヲ去リ不申  
候如此兄弟勇膽ヲ闊ク多ク候テハ今日サテ弱ナル本山ノ信  
用ト因難セシ門末ノ財力トハ如何ニシテ此ノ大負債ヲ償  
却致スヘノ候ヤ若シ此依ニシテ放擲致シ候ハ數年ヲ出スレテ



誠惶誠懼謹言

大法主臺下ニ白ス

道善

前ニ學生年ノ本分ヲ願ミス

眞言書ヲ發刊致シ候ハ實ニ方止ヲ得サルノ事情有之候蓋シ  
宗教ノ命脈活動ハ信仰ニヤリ信仰ハ完全ナル布教ヨリ起リ  
布教ハ圓滿ナル勸學ニ基因スルヤ被存候然レハ教學ニ途  
盡否ハ宗門ノ盛衰存亡大關係有之候然レハ今吾大谷派ノ  
教學ニ途ノ如何ヲ顧ミ布教ノ策舉ラス勸學ノ効奏セ  
ズ剩ヘ現當路者ハ自己ノ權勢榮利ヲ貪リ申候ヘテ猥リ  
不急ノ支ヲ起シ無要ノ浪費ヲ之カ爲ニ増シ之ニ依リテ財政ノ  
■艱難ヲ生シ頻リ妖僧ヲ地方派シ名ヲ教學ニ借リテ致々  
汲々勸財之勉メ門末ノ財政ヲ涸竭シ盡サント致シ居リ候

間門信徒ノ信仰之レカ爲ニ地ヲ拂ヒ既ニ勸財ノアル間ハ改  
宗轉派セント申シ居ンモ其教ヲ知り不申候 尚ホ宗教ノ要  
素タル信仰ハ 臺下ノ御威徳ノ如何ニ関スル重大ノ事ニ候  
然レハ近來新聞雜誌ニ悲シ多シモ 臺下ノ御威徳ヲ傷メ  
ルヲ甚シク苟モ大谷流ヲ潰シ奉ルヲ、恐バントシテ恐ブ能ハ  
ルヲ有之候固ヨリ新聞雜誌ノ如キハ信用スルニ足リ不申候ヘ  
トモ設令之シテ無根ノ浮説流言ト致シ候モ抑モ御内事ノ  
肅清ハ布教ノ根本勸學ノ根元ニ候ハ其旨同否ニ多ク  
テハ信仰ノ冷熱大法ノ汚清ニ関スル重大ノ一ニ候ハ世人ヲシ  
テ如ク風説ヲナサシメ一旦 臺下ノ御尊嚴ヲ欠キ申シ候







大いに期待し又感謝せねばならぬと思ひます

近年は近來稀に暖冬で雪の足跡、新地でも

積雪僅か一、二尺程で、同じ地でも、動向が違ふて

ある。雪根の雪もまた一尺もり、是れ一昨年の雪よりは

かなり、向ふと雪の崩れ、大に損をうけて修理には大変

弱う、また食糧の情も昨年は、雪にお困り、大に緩和

され、また近頃は、部会には、雪の足跡、大に緩和

出回ると、雪の足跡、大に緩和、大に緩和、大に緩和

新地、田舎には、雪の足跡、大に緩和、大に緩和、大に緩和

衣類は、一番、足跡、大に緩和、大に緩和、大に緩和

家族の近況を申す、大に緩和、大に緩和、大に緩和

母は、大に緩和、大に緩和、大に緩和、大に緩和

は、大に緩和、大に緩和、大に緩和、大に緩和

大に緩和、大に緩和、大に緩和、大に緩和



院代王様の御時より新時代より後世よりとわらう  
山をあげた法務よりとわらう長男は早生まれ七才で  
断々今君より小學校に入学する學校に三才以下  
中學迄は家可通に出来、村のあつた大工の教師  
中へ投金する光亨とてわらう長女は三才。誕生より  
育すかともきり坊主の家の中へ愛嬌あるおます  
家内は今通るお女中、あらう台所、仕事は二人引又リ  
てわらう土地の開拓は自作の田畑も耕作せわさうせん  
地方の地主は皆耕作とてわらう家畜の飼育殊に酪農も  
盛んにあるとわらうた少年はあつた収入を得てわらう  
狭い土地と如何に利用するの今格、問題とすこれより  
指導の能くと思ふと何とあるもこれらは健康の第一  
御つて御の水はあつた日、水、再建もあつた生地の



謹賀新正

儀セラ旧恩ヲ拝謝シ貴家ノ御清福ヲ祈ル

千九百五十一年元旦

布哇 今井豊治

池田母貝道先生殿

妻 キイ  
八十才

年末妻大手術等多用コト重キ事知ラレ及申上ルツトモ萬  
事延引仕リマシタニ段御海容願上マヌ幸ニ全快壯健体ト  
ナリマシタラウ安心致シマシタリ而シテ本年ハ我々ノ記念十周年  
ヲ迎ヘマシタカ私トシテハ結婚シテ四十年一家蕃族ハ五十人ニ近  
ク日米布トニテ所ニ分シテ居リマス古物トシテハ七十年前  
教員ノ卵トナリ十四ヶ年勤務辞シテ敬愛実業家ニ入りテ五十七  
年辞シテ布哇ニ来リ五十三ヶ年目オウラア製糖會社創立當時  
時值人ノ始メニテ一書ノ番ヲラ得<sup>即ち此年</sup>又母貝道<sup>即ち此年</sup>當座サナシ申上日  
本語學校本願寺附属トリシモノ<sup>創立</sup>第一代校長兼教員也  
ハ四十九年前物賣<sup>即ち此年</sup>ニ来リマシカニ蕃族タキト古物ニ大抵  
人ノ孫色ナキヲ誇トスん丈ニモ昔ニ老益マ壯健体トナリ  
持病を輕クナリテ今ヲ迎ヘタル又喜ビ居<sup>即ち此年</sup>シテアリマス  
今コトヲ先ニ申シタルアリヤシタれ中々致<sup>即ち此年</sup>ス健勝ニシテ  
一段目出度限リ祝シ申上マス儀之ヲ甲向ヲ申上マスガ



先ず一由上ハハ御著書六冊ノ賣物正ニ由テ取マシタ先由申  
 上マシタ由了余リ多クハ不可能ト存じマスガ追々ト運動致  
 しまスル気長ニ思ふ所願上マス所にて三弗五拾仙ノ強約直  
 ニテ賣リ其内特別ニ割ラレ生ニトサントコト御厚意ニ對シ  
 精々努メマシマスホ何カノ老物ニテ口市ノ山物ニモ八九哩  
 アリマスル機敏ノコトハ山車マセカ追々ト成績申上マスニ  
 口市推本甚多クハ依託販賣ヲ依頼しマシタ所生之也  
 訪問ニ由テ書リマシタカウニ冊代ノ割書其ハ拾仙ノ頂  
 中五弗ノ拾仙郵便物<sup>替</sup>以テ御送る申上マスカ二回御  
 送金ノ節又御送本取ハマス決テ不都合ノコトハ致シ  
 マセカ御安心ノ上先書致し成績ノニツキコトハ御  
 許し下サレ度御教申上マス別送ニトシ英字印刷  
 物ハ心算ノ人ノ分配ニアリマス事おスルニ御注意申上マス  
 じしヨリノ銀行支店ノ千工ツキハ送金ニ都合宜イカデレ  
 ハニ由建<sup>建</sup>ニ<sup>ニ</sup>ハ<sup>ハ</sup>手数料ヲ要スル外税々面倒ニ付お  
 替アリ正金ニセヨトノ御事申上マスハ千工ツキニ御送金支



アリマセ方御申上マス余計ノ御申上マス水入考上  
 承ノ事以前書之御答ノ邦字外簡名回数御  
 申上又又表紙多ムノ煙ノ如キハ如何ナク意味ナ  
 アリマセ方ワイハフ完政嘉一ハ貴方ト特別ノ方極ナリ  
 事ノ申上ニ對シ自身ヲサイホリ求メシ又ナト先般申  
 事ノ事ノ御答ニ御答云フ見ウシハ如何ナクアリマス  
 上テ見マス考ホク承諾セハ申上云フ御答ノコト  
 二ト存ジマス又ハハハト難法販賣ノ販引アリ  
 アノお生御答ノ御答ノ御答ト申上モ憚リコトモ御長  
 テモアリマス布位御答ノ御答ト申上マス方御答  
 御答ノ御答ノ御答ト申上云フ御答ノ御答ト申上  
 下サレ御答ノ御答ト申上マス御答ノ御答ト申上  
 々御答ノ御答ト申上御答ノ御答ト申上御答ノ御答ト申上  
 イカセサレ御答ノ御答ト申上御答ノ御答ト申上御答ノ御答ト申上  
 セシマシ御答ノ御答ト申上御答ノ御答ト申上御答ノ御答ト申上  
 一月三十四日御答